

Award

**大学コンソーシアム大阪
「人と人との関わり事業」に
本学学生の企画が採択!**

本学が加盟する大学コンソーシアム大阪では、学生からの公募事業として「人と人との関わり事業」を実施。同事業は若者の視点で人権啓発を促すことができる取り組みを募集するものだ。採択された企画には、1件あたり最大150万円の予算が支給される。3件の事業募集に対し7件の応募があり、そのうち本学学生の企画2件が採択された。

Event

**キャンドルナイト2012
プロジェクト始動
テーマは「未来を照らす
追大光の祭典2012」**

本学学生と職員による共同企画。7月11日、決起会が開かれた。12月初旬の開催を予定。来場者の心に残るイベントを目指す。プログラムも既に開設しており、詳しいイベントの情報が見られる。



▼学生スタッフブログ
http://www.act.otemon.ac.jp/user_options/100182

Sports

**中牧佳南さん、
シンクロ日本A代表に**

国際教養学部英語コミュニケーション学科2年生、中牧佳南さんがシンクロ日本A代表に選ばれた。中牧さんは8月に東京辰巳国際水泳場で行われた日本チャレンジャーズで入賞チーム2位、デュエットおよびソロで3位。11月中旬にドバイで開催されるアジア選手権大会に出場する。



▼学生スタッフブログ
http://www.act.otemon.ac.jp/user_options/100182

Topic

**「学生FDサミット」、
追手門学院大学で開催!
全国56大学、340名が参加。**

学生FD活動を推し進める全国の大学教職員、学生が集い情報交換や研修を行う全国大会「学生FDサミット2012冬」。その主催校に追手門学院大学が選ばれた。2012年2月25日・26日、本学の茨木キャンパスで開催された本サミットには、全国から56大学、340名を超える教職員・学生が参加し、「大学を変える、学生が変わる」のテーマのもと、分科会や「しゃべり場」が行われた。本学学生FDスタッフの意欲と情熱、周到に練り上げられた企画の数々、参加者への手厚いホスピタリティ、すべてにわたって、参加者に深い感銘を与えるサミットとなった。



▼学生スタッフブログ
http://www.act.otemon.ac.jp/user_options/100182

Topic

**2012年度
前期人権研修会開催**

7月5日(木)本学5号館で、2012年度前期人権研修会を開催。福知山淑徳高等学校非常勤講師、山室建治氏を講師に迎え「アンネのバラに託す平和」と題して講演いただいた。同氏は「アンネのバラ」の苗木を育て、毎年接ぎ木を行い全国に広める活動を通じ、平和の尊さを訴えている。本講演での「バラを大切に育てると同じように平和も人の手によって育まなければならない」という言葉は参加者の心に深く刻み込まれた。この「アンネのバラ」は本学にも寄贈いただき、將軍山会館前に植栽している。

入賞学生団体一覧 [4月~9月]

| 団体名 | 月日 | 大会 | 実績 |
|-----------|-----------|--------------------------|------------------|
| 硬式野球部 | 6月 | 阪神大学野球連盟新人戦 | 準優勝 |
| 少林寺拳法部 | 7月1日 | 2012少林寺拳法大阪府民体育大会 | 一般三段組演武入賞 |
| | | | 一般二段組演武入賞 |
| 少林寺拳法部 | 7月16日 | 少林寺拳法関西学生大会 | 一般初二段組演武優勝 |
| | | | 一般四段組演武優勝 |
| 柔道部 | 9月16日 | 茨木市民柔道大会 | 一般女子三段組演武優勝 |
| | | | 自由組演武男子二段以上の部 3位 |
| 清艇部 | 5月3日~6日 | 第65回朝日レガッタ | 一般女子シングルスカル準決勝進出 |
| | | | 一般女子シングルスカル準決勝進出 |
| ソフトテニス部 | 4月29日 | 関西学生ソフトテニス春季リーグ戦 | 6部A優勝 |
| チアリーディング部 | 6月17日 | 第21回関西チアリーディング選手権大会 | 規定演技 3位 |
| | | | 自由演技 5位 |
| 洋弓部 | 8月15日~16日 | 第52回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会 | 準決勝進出 |
| | | | 決勝4人進出 |

Sports

Topic

**「人はみな違う。互いを認め、自分を信じよう」
アグネス・チャン氏が語った、世界への志。**

2012年7月21日(土)、追手門学院高校との高連携講座「立志塾」の公開講座が追大キャンパスで開催された。授業は講演と討議の2部構成。講演では追手門学院客員特別教授のアグネス・チャン氏が高校・大学生、一般参加者らを相手に「世界への志」と題し自らの半生を熱く語った。

「人はみな違って、同じ人間はこの世に一人といない。お互いの違いを認め合うことができれば、温かい心が持て、協力し合える。世界に臨むには、まずそうした違いを大事にできる人間になることが重要」。

優秀な姉と比較された幼少期。中学生の時に初めてボランティアに参加し、障がい者の方々から受けた温かな歓迎。故郷・香港を離れての芸能活動。日本ユニセフ協会大使として世界各地で深めた見識。母親として子育てに奮闘した日々。そうした自らの体験のすべてが、教育学博士としての同氏の言葉に強い説得力をもたらす。

「みんなが同じじゃなくて違うからこそ、あなたはとつても素敵。周りを意識することから、自分について意識を向けよう。自分の考えを信じ、自分に納得して自分を大事に生きる。それこそ、あなたが活躍の場を準備している」。

1部の講演会では笑いを誘う見事な話術とそのたくましい生き方に会場の高校生たちは皆真剣に耳を傾け聞き入った。2部は高校・大学生のチームとの「夢と志」をテーマにしたグループ討論で、テーブルを回って一人ひとりの質問に熱心に受け応えするアグネス氏の姿が印象的だった。



Topic

**「大学広報人材養成講座」に
高い関心。梅田サテライトで
後期授業スタート**

情報発信のスキルを基礎・基本から幅広く学べる「大学広報人材養成講座」が大阪梅田サテライトで6月に開講し9月27日から後期授業が始まった。関西プレスクラブと日本広報学会関西西部会の後援、協力を得て本学の主催で開催した年間20回シリーズの公開講座。講師は企業や大学の広報・マスコミ、広報学会など幅広い分野で活躍する情報発信問題の専門家。講義は実学重視で、授業に「ディスカッション形式を取り入れている。登録受講生は現在95人。毎回大学職員のほか大学生、高校生、教員、企業関係者らの参加があり、授業は本学が社会貢献の環境で行う。



Olympic

**シンクロナイズドスイミング
日本代表 吉田胡桃さん
「ロンドン五輪を通じて学んだこと」。**

ロンドン五輪出場には特別な気持ちがあったと思うのだが。正直、最初は自分が五輪に出場することなど考えたこともなかった。転機は高校三年の時、ナショナルAチームに選出されたこと。チャンスがあるなら、ルーティン競技の代表チーム8名に入って泳ぎたい、でなければ意味がない。そう感じて練習に励み、選考会に挑んだ。

最終選考までの道のりにおいての苦労は。選考会は東京で行われるため、大阪からの移動で体力を消耗し、プールの水の感覚の違いというハンデもあった。でも同世代のライバルに負けたくない一心で、先生の厳しい指導にしっかりとついていき、代表に選ばれた。

ロンドン五輪にはどのような意気込みで臨んだのか。4年に一度の舞台なので、私を含め、経験したことのない選手ばかり。チー

ム丸となり、上をめざすのみという覚悟で挑戦した。

五輪五位入賞という結果についての自己採点は。日本の技術を最大限出し切った結果、下位の国に抜かれることなく、上位の差も縮まった。悔いはないが、まだまだ上を目指さないとはいない。

競技を終えた後の感想は。親からの声援、コーチの喜ぶ顔、観客の拍手。それらを感じた時、頑張ってきた良かった、心から思った。苦しいことも多かったが、だからこそ楽しみがあり、達成感も大きい。シンクロの魅力やスポーツの意義を、再確認することができた。

厳しい練習と大学生活との両立にも苦労があったのでは。練習や選考会で授業に出られない時は、友人が講義ノートやプリントを貸してくれた。家族も、送り迎えや出られなかったテストの追試手続きなど

Interview: 杉本 恵美、藤波 亮祐、樋口 樹里

どのフオローをしてくれた。友人や家族の支えがいかに大切かも、五輪を通じて改めて学んだと思う。

今後の抱負は。ロンドン五輪での経験を活かし、2016年のリオデジャネイロ五輪に向けて、日本に貢献したい。メダルが取れるチームとなるために、目の前の課題を一つずつ克服し、自分もチームもスキルアップを図っていく。そして世界に認められるチームをつくりあげ、メディアで紹介される機会を増やし、より多くの方々にシンクロの魅力を知ってもらえるよう頑張りたい。

国際教養学部アジア学科 3年 吉田 胡桃 さん

2歳の頃から母がコーチを務めるスイミングクラブで泳ぎを学び、小学4年生から本格的にシンクロを始め、2010年、母の井村雅代氏の手引きで追手門学院大学に入学。同年に日本選手権予選「ふりしるべ」優勝。2012年のロンドン五輪では五位入賞を果たす。167cmの身長と節間美しさを活かした演技が魅力。



BOOK INTRODUCTION

追手門学院大学 教員の著書 [五十音順]

秀吉伝説序説と「天正軍記」
(影印・翻字)
追手門学院大学 アジア学科(編)
2012年3月 / 和泉書院

自己の心理学を学ぶ人のために
金川 智恵 (経営学部) 共著
2012年2月 / 世界思想社

国際社会を学ぶ
中村 都 (経営学部) 共著
2012年3月 / 晃洋書房

オープン・イノベーションと企業の戦略的提携
再生医療のネットワーク型結合産業化の創造に関する研究
米倉 積 (経営学部) 著
2012年3月 / 税務経理協会